

会 議 録

名 称	平成26年度 目黒区廃棄物減量等推進審議会（第4回）
日 時	平成27年3月20日（金）午後3時～午後5時まで
会 場	目黒区総合庁舎本館地下1階 第15・16会議室
出席委員 （敬称略）	安井、庄司、平尾、二ノ宮、山宮、吉野、原、團村、小川、官林、柳、檜山、西澤、三浦、 工藤、松本
区側職員	荒牧環境清掃部長、堀内清掃リサイクル課長、石田環境保全課長、大崎清掃事務所長
傍 聴 者	0名
配布資料	資料1 目黒区廃棄物減量等推進審議会答申（案）について（席上配付）
会議次第	<p>1. 開 会 20人中、出席者は16人であり、半数以上の出席があるため定足数を満たしており、会は成立する。</p> <p>2. 議題 以下、発言者名・名称は下記のとおり表記する。 環境清掃部長・・・・・・・・・・部 長 清掃リサイクル課長・・・・・・・・リ課長 清掃事務所長・・・・・・・・・・事務所長 環境保全課長・・・・・・・・・・環課長</p> <p><報告事項> （1） 目黒区一般廃棄物処理基本計画の改定に係る審議会答申骨子（案）について リ課長 （資料1により説明） 会 長 題名に「2100年を視野に入れた」が付いている理由を説明する。 最終処分場の残余容量は23区では50年、多摩地域では普通に埋め立てると10年なのでエコセメントで延命化を図っている。23区も同様のことをやらざるを得ないが、処理費用がかかるため有料化とペアになると思う、少し長期的にみなければならぬことが理由のひとつである。 目黒区の基本構想に「地域と地球の環境をはぐくむまちめぐろからの挑戦」とあり、地球も考えなければならぬ。パリで国連気候変動防止枠組条約の締結国会議が予定されており、国ではそれに向けた議論がなされている。日本の産業界は石炭発電所を提案しているが、石炭については2030年くらいで使用できなくなる可能性があり、石炭発電所を造っても10年しか使えない。今世紀は人類と地球との関係がガラッと変わる世紀であることは間違いない。最近、5人目の孫が生まれたが、彼女は場合によっては2100年に生きている。そのため、2100年を視野に入れて、各行政ならびに政治のほうも頑張っていたきたいという思いを込めて「2100年を視野に入れた」を付けさせていただいた。</p> <p>委 員 11ページの「(2) 今後の取組み」の3つ目で、「オリンピック・パラリンピック大会を契機とした事業系ごみの資源化」とあるが、事業系ごみの分別基準を見直すということか。 リ課長 現行の事業系ごみは分別が不透明である。区の調査結果を見ると、事業系ごみ対策が必要であると思っている。23区全体でも、事業系ごみは右肩上がりの傾向を見せており、事業系について、区民が行っている分別基準に近い分別を行っていただく必要があると考えている。</p>

委員	事業系ごみは、一般廃棄物と産業廃棄物があり、廃棄物処理法との関係で難しいところがある。もう少し具体的に表現した方がよいと考える。
リ課長	書き方を工夫したい。
委員	7ページの雑紙について単に「努力してくれ」という提案ではなく、財政的な裏打ちがないと先に進めないと考える。
リ課長	ごみとして捨てられている雑紙を資源にするには、普及・啓発を続けていくことが必要である。印刷物だけではなく、イベント、地域での説明などの現場指導も考えていきたい。
委員	雑紙については、提案を受けた行政側が何か仕掛けなければ削減にはならないと考える。若い人は関心がない。
部長	若い人は意識がないという話があったが、雑紙に限らず分別をきちんとするという意識になって資源化を進めれば、ごみ量自体が減っていく。そのため、高齢者世帯、若者世代、外国人など、対象者別に周知の仕方を工夫する内容になっている。地道な積み重ねが必要である。
委員	9ページの「めぐろ買い物ルール」については、インセンティブという意味合いを具体的に示す必要があると考える。
会長	目黒区の買い物ルールには区が関与していること、買い物ルールに参加している店に行くことよきことがあるということを知民にわかってもらう工夫が必要である。店が買い物ルールに参加したくなるような具体的な仕組みなどは、事務局が考えてほしいというお願いである。
リ課長	買い物ルールについては、区が手を離すのが早かったのではないかという指摘があった。どうすれば認知度があがるかという施策については、話し合いを進めているところである。
会長	買い物バッグを持っていった人が「よかったな」という仕掛けを行政側から仕向けていく必要がある。中小規模の商店がそういうふうなものでプレミアムを付けるというのはなかなか大変だろうと思うが、努力が必要である。
部長	大規模店舗ではエコポイントカードなどの取り組みが容易にできるが、小規模事業所は商店街共通のポイントカードにするなど工夫が必要で、商店街振興と絡めた形で展開をするなどの工夫の余地はあると思う。商店街や区の産業振興、商店街振興の部署などと相談して知恵を出していきたい。委員からもアイデアをいただきたい。
委員	若年ワンルームマンションの分別はたいへんである。雑紙を入れる袋をリサイクルイベントで配布しているが、イベントに来る人はすでに十分に組み組んでいるため、ターゲットを若年単身世帯に絞って各戸配布するなどの対策が必要と考える。 買い物ルールの今後の取組みに「目黒区にゆかりのある著名人を起用する等」としているが、反省点として、以前、ガラクタ音楽隊を使ってCDを作ったが誰も覚えておらず失敗だった。 買い物ルールに関してはコンパクトになってしまい、オブラートに包まれたような感じになってしまった印象がある。
リ課長	オピニオンペーパーを受け付ける期間を2週間取るので、各委員から意見をいただき、まとめていくことを想定している。提案の内容によっては、会長と相談をして最終案にまとめていきたい。難しいようであれば、再度、審議会を開くことも考えています。区長への答申の日程は6月3日を想定している。
会長	めぐろ買い物ルールがコンパクトになったのは、他とのバランスを考慮したためであり、そうせざるを得なかったと思う。
委員	行政が本腰でやっていることを受け止められると、区民は動く。事業者はビジネスに有益かどうかというのが動機になるが、現在のルールは事業者にとってメリットがほと

	<p>んどない。</p> <p>今回に期待できるのは、区の本格的な関与を打ち出していることであり、区が、事業者に対して買い物ルールを広げていくということを強く訴えれば、事業者の受け止め方がかわってくると思う。</p> <p>具体的なインセンティブについては難しい問題である。大規模店舗ではポイント制などシステムの導入は容易であるが、小さなお店では難しい。広める会としては、委員の方々が真剣にバックアップしてくれていることを肝に銘じて活動をしていきたい。</p>
委員	<p>エコポイントは1円か2円であるが、そのポイントが福祉事業に使われるというような形も作ってもよいのではないか。ポイントを付与する機械がないところは、商店主が「あなたの分ですよ」と箱に2円を入れて、区の福祉事業に持ち込む。</p>
会長	<p>よい提案と思う。</p>
委員	<p>目黒清掃工場の運営協議会を何年も傍聴しているが、ごみ量についてはいつも平行線である。新工場の操業にあたっては年間焼却量をできる限り目黒区排出ごみ量に近づけるよう、目黒区として清掃一組に積極的に発言してほしい、という趣旨の文言を加えてほしい。</p>
会長	<p>清掃一組の話は根深いものがあり、他区のことなどを考慮すると難しい。清掃事業の区への移管については、そろそろ歴史的な検証が必要なのではないか。清掃事業を再び都が行うことは、区の権利の侵害という意見もある。</p>
委員	<p>清掃移管の基本理念は区の自治権の拡充というのが思想的な原点であった。そのため、都が行うと言うことは、区の権利を吸い上げることになるので時代の逆行ということになる。</p>
委員	<p>区は清掃一組の組合員である。</p>
委員	<p>現状では、区の自治権はそこでは半分、死に体のようなものである。清掃移管のとき、東京都は、収集運搬、処理、処分の一貫性が分断されることへの危惧があった。</p>
委員	<p>都議会で食品ロスや未利用食品の減量化について議論されていると聞いている。区としての考え方や情報はるか。</p>
リ課長	<p>基礎調査報告でも燃やすごみの約4割、年間1万3000トンが生ごみである。買い物ルールの活用、対象者の意識改革を図るための継続的な周知が必要と思う。身近な話では、宴会での食べ残しを少なくするなど、身近な普及・啓発をやっていかなければならないと思っている。</p>
委員	<p>スマホやインターネットを使っている若い世代は、「ごみ、どうしよう」と思ったときにまず、検索から入る。そのときにワンクリック、ツークリックですぐ情報が出てくれば、分別を守ろうとするのではないか。逆に、分別カレンダーを冷蔵庫に貼っている世代もあり、世代に応じた対応が必要と考える。</p> <p>若い世代を対象とした普及啓発は、ホームページの改革がひとつの方法だと思う。広める会がブログを始めているので、そこから写真とか映像が細かく入ってくると、ねらいたいターゲットの意識が変わってくるのではないか。</p>
リ課長	<p>昨年の基礎調査の中は、ホームページの利用が30歳未満で低くなっているという調査結果もあったことから、そこを穴埋めするような普及・啓発のやり方が必要になると思う。単に印刷物を作るだけではなく、対象を絞った普及・啓発、現場での排出指導などをトータルで考えていく必要があると考える。</p>
委員	<p>私は子供たちにクイズを出しながら分別を教えている。以前、学校で子供たちが環境クイズを教わってきたが、自分たちも教えられた。効果を出すためにはいろいろな角度からの対策が必要である。問題のあるごみ集積所にごみGメンに立っていただくことはできないか。</p>
リ課長	<p>排出指導に力を入れていくため清掃事務所と進めている。地域のごみ問題で、集積所</p>

	<p>が一番問題になっている。戸別収集は高齢化社会に向けたひとつの対策であり、戸別収集にすることで区全体のごみ量が減ったというような自治体もあることから、集積場の考え方をあらためて検討していく必要がある。</p>
環課長	<p>環境保全課では「めぐろスマートライフ」を提案しており、「スマートライフ提案会議」から、おしゃれな、目黒らしいライフスタイルに転換するための情報を発信していく予定である。30代の女性を想定したホームページを4月には立ち上げたいので、見ていただいて、いろいろご意見をいただきたい。</p>
委員	<p>単身高齢者の多いマンションに住んでいるが、高齢者はまじめなので、体が不自由な人が少量でも分別してごみを捨てていくのを見かける。「これは生ごみに混ぜていいんです」って思わず言いたくなるが、どのようにすればよいかかわからない。</p>
リ課長	<p>高齢者の場合には「無理のない範囲で」というお願いをしている。一般廃棄物処理基本計画の改定の中で整理をしていきたい。</p>
委員	<p>この審議会に中高生などの若い人が傍聴にきていただくような働きかけはできないか。</p>
リ課長	<p>審議会の開催については区報で紹介している。 清掃事務所で、保育園、児童館、小学校などにパッカー車を持って行って、環境教育を行っている。ごみ問題は小さいころから関心を持ち、常識として覚えることが大人になってからも知識・習慣として残る。平成25年度は、区内の保育園と小学校の31カ所に出張している。</p>
委員	<p>区民の側がごみ減量の努力するのは限界があると考えているが、買い物に行くとパックやラップが大量に出る。売る側の人たちはごみ減量の努力をしているのか。区は事業者にもごみ減量の指導はしていると思うが、区民や消費者に対してはやっぱりごみ減量、リサイクルを働き掛けているような気がする。</p>
リ課長	<p>事業系ごみについては、区はあまり関わってこなかったが、今後は事業系ごみについても一定の関心を持っていきたいので、基礎調査の中に事業系ごみの調査を入れているし、答申の中にも入れさせていただいている。</p>
環課長	<p>環境保全課で実施している「めぐろグリーンアクションプログラム」の事業所版で、事業者・団体を対象に、環境負荷の低減に向けた取組みを行っている。具体的には、チャレンジシートを半年に1回出していただき、認定委員が確認して認定をする制度である。今年度、新たに1300事業者が加入している自由が丘商店街振興組合が登録した。情報はホームページでご紹介しているので、ご覧いただきたい。</p>
会長	<p>事業者は消費者が一番望む形にするということで包装を考えている。これほど厳重に包装をされている商品がスーパーに並んでいる国は、おそらく日本だけではないか。そういう文化をつくったのは消費者である。</p>
委員	<p>包装は少なくなってきた。たとえば、大型スーパーではお肉をトレイから袋に変えたところもある。消費者側がお店に働き掛ければ過剰な包装は減っていくのではないか。</p>
委員	<p>トレイのない肉は、消費者側が選ばないというのが現実である。</p>
委員	<p>区として不用なチラシは配らないようにする指導はできないのか。</p>
部長	<p>事業者の営業活動なので、区が入れるなどというのは難しい。新聞の販売店に「チラシを入れないで」と言うことはできるのではないか。不用なものはいらないというメッセージを、消費者が直接出していくことが大事であると考えます。</p>
委員	<p>お弁当を1個買っても新商品などのパンフレットが入ってくる。「要らないから何も入れないで。余計なことをしないで。そんなものをやったって無駄だよ。」ぐらいのことを言ってあげれば、入れないようになる。</p>
委員	<p>学校でもらってくるお便りの量も半端じゃない。</p>

	<p>会 長 配らないことに文句を言う親のほうが多いのではないか。</p> <p>会 長 本日の議論の繰り返しでもよいので、意見があれば手元の紙に書き、2週間以内にファックス等で事務局にお送りいただきたい。</p> <p>リ課長 ゴールデンウィーク前後ぐらいには、修正案を示したい。</p> <p>会 長 できれば修正案を認めていただき、どうしても同意いただければ、再度審議会を開催することになる。</p> <p>3. その他</p> <p>リ課長 次回は6月3日を予定している。</p> <p>4. 閉会</p> <p style="text-align: center;">以 上</p>
--	--